

「働くこと」について考えを深めよう ～議論を通して～

単元について

1 生徒観

表1・表2は、6月に行った生徒アンケートの結果である。2学年の生徒は、課題を解決しようとする意欲（表1の①）や情報の整理・分析をしようとする意欲（表1の③）が高い一方で、進んで情報を収集する意欲（表1の②）が低い。本校で設定した資質・能力については、「思考力」（表2）に課題があり、自分の考えに根拠をつけて説明する力が低いことが考えられる。

表1 「課題発見・解決学習」に係るアンケート結果

質問項目	肯定的評価
①授業では、解決しようとする課題について、「なぜだろう」「やってみよう」と思います。【課題設定】	85%
②授業では、課題を解決するために、進んで資料を集めたり取材をしたりしています。【情報の収集】	68%
③授業では、比較・分類・関連付けして、何が分かるかを考えています。【整理・分析】	83%
④授業では、自分の考えを積極的に伝えています。【まとめ・創造・表現】	70%
⑤授業では、考えたり提案したりしたことについて、実際に取り組んでいます。【実行】	82%

表2 思考力・判断力・表現力に係るアンケート結果（①の方がレベルが高い）

評価基準	生徒の割合
①正しい判断や結論を導くことができ、さらに「なぜそう判断したのか」の適切な理由や根拠を言うことができます。	32.7%
②正しい判断や結論を導くことができ、さらに「なぜそう判断したのか」の理由や根拠を言うことができます。	48.6%
③正しい状況判断や分析ができます。	14.9%
④まだ③の段階に達していない。	3.8%

2 単元観

第2学年の総合的な学習の時間では、学習単元を前期は「地域理解・社会貢献」、後期は「自己探究」と位置付けている。前期の単元では、職場体験学習を通して、社会と企業の関わりについて調べ、自分たちが社会にどのように貢献できるか考えることで、「社会と関わっていく力」、また「働く意義」について向き合っていく態度を育成することをめざしている。

本単元は、前期単元で「働くこと」について考えたことをさらに深めるために、以下の①～⑥のように学習過程を設定している。①職場体験学習を振り返って体験前後の考えの変化を交流する。②社会の現状の課題を提示し、社会が変わっていくということに課題意識を持つ。③変化していく社会の中で将来の自分たちはどのように働いているか想像させたり、社会の中での疑問を出したりし合う。④疑問に思ったことやみんなで考えてみたいことについて調べ学習を行う。⑤さまざまな視点から「働く」ことについて議論や意見を交流し、自分の考えを深めたり視野を広げたりする。また、自分たちが働くときの社会はどのようになっているのか、社会を取り巻く環境や状況などを整理・分析し、社会との関わりについて考える場面を設定し、未来を想像する中で、どんな社会で働きたいか考える。⑥「働くこと」について自分の思いを文章にまとめる。

3 学びづくり観

子どもの学びを充実させるために、次のような支援を行う。1つ目は、研究大会主題となっている「自ら考え学ぶ授業」にするために、課題設定の場面において、自分の経験と社会の現状を比較し、社会が変わっていくということに課題意識を持てるように支援をする。変化していく社会の中で将来、自分たちはどのように働いているか想像したり、社会の中での疑問を出し合い、その疑問を自ら調べたり、質問したり考えを広げることができる。2つ目は、課題を解決しようとする意欲は高いが、解決に向けて主体的に情報を収集・分析し、新たなものを創造する力が低いという生徒の実態から、こちらから様々な課題を示し、その課題を解決する方法を学ぶ場面を仕組む。また、自分の考えを積極的に伝える意欲が高いという学年の長所を生かしつつ、課題となっている「思考力・判断力・表現力」を高めるために、本単元では議論や意見を交流する場面を多く設定し、交流や議論することを通して、働くことについての考えが深まっていくよう支援をする。

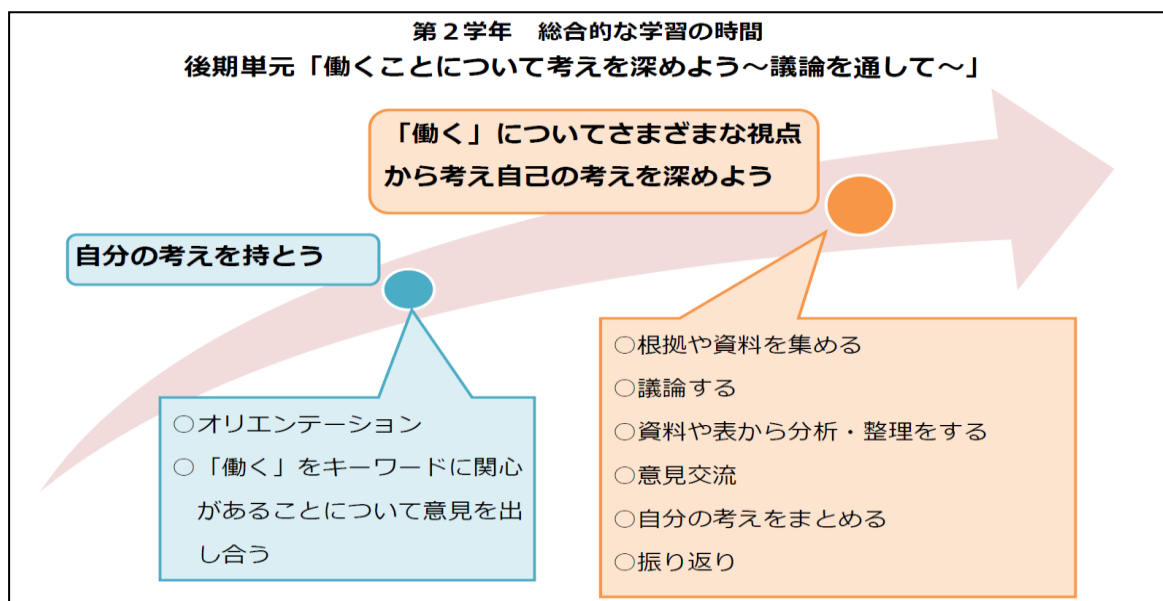


図1 学習の流れ

単元の目標

「働くこと」についてさまざまな視点から議論したり調査したりすることを通して、働くことについての自己の考えを深める。

単元の評価規準

評価の観点	本校の設定した 資質・能力	評価規準
知識・技能 (知)	知識・技能 知	①働くことについてのさまざまな事柄について理解を深めている。
思考・判断・表現 (思)	思考力・判断力・表現力 思	①集めた情報をもとに、根拠を明確にして自分の考えをまとめている。 ②働くことについてさまざまな視点から考えようとしている。 ③相手が納得できるように分かりやすく伝える工夫をしている。
主体的に学習に取り組む態度 (主)	主体的に学ぶ力 主	①自ら課題を見出し、それに対して自分で解決しようとしている。
	他者とかかわる力 他	①他者の意見を聞くことで、自分の考えを深めたり、新たな考えを見い出したりしている。
	社会貢献力 社	
	自己形成力 自	①単元を振り返り、「働くこと」について前向きに考えようとしている。

単元と評価の計画

1 学びづくりの年間計画

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
単元	「働くことと向き合おう～職場体験学習を通して～」 (58時間)						「働くことについて考えを深めよう～議論を通して～」 (12時間)					
	地域理解・社会貢献						自己探究					

2 単元と評価の計画

小単元名	学びの過程	時数	○学びの内容 ・学びの活動	評価規準 (評価方法)	教科との関連
「働くことについて考えを深めよう～議論を通して～」	課題の設定	1	○単元の学習の流れを知り、今の考えを整理する。【本時】 ・写真を見て職場体験を思い返し、体験前と体験後の「働くことへの考えの変化を交流する。 ・「働く」をキーワードに関心があることについて意見を出し合う。	③【他-①】 (行動観察) (自己評価表)	⇔【国語】 話し合っ て考えを 広げよう
		1	○みんなで考えてみたいことを決定する。 ・調べたことを発表し、議論のテーマを決定する。	④【思-①】 (行動観察) (自己評価表)	⇔【国語】 話し合っ て考えを 広げよう
	情報の 整理・ 分析	1	○調べ学習をする。 ・根拠や資料を集める。	⑤【知-①】 (行動観察) (自己評価表)	⇔【数学】 資料を整 理しよう ⇔【国語】 多様な方 法で情 報を集め よう
		4	○議論をする。(4) ・調べたことをもとに議論をする。	④【思-③】 (行動観察) (自己評価表) ③【他-①】 (行動観察) (自己評価表)	⇔【国語】 話し合っ て考えを 広げよう
		1	○自分たちが働くときの社会はどのようになっているのか、 社会を取り巻く環境や状況などを分析・整理する。 ・資料や表から考える。 ・調べたことをまとめる。	④【思-②】 (行動観察) (自己評価表)	⇔【数学】 資料の傾 向を読み 取ろう ⇔【社会】 世界から 見た日本 について 考えよう
		1	○調べたことを交流する。 ・ジグソー学習をする。	③【他-①】 (行動観察) (自己評価表)	⇔【国語】 要点を整 理して聞 き取ろう ⇔【理科】 比較・分 類をして 相違点を 見つけ出 そう
		2	○まとめをする。(2) ・活動を通して、「働くこと」について自分の考えを文章にまとめる。	④【思-①】 ④【主-①】 (行動観察) (自己評価表)	⇔【国語】 根拠を明 確にして 意見を書 こう
	振り 返り	1	○単元を通して学んだことを振り返る。 ・単元を通して身に付いた力とこれからの自分の生き方について考える。	③【自-①】 (行動観察) (自己評価表)	

※単元計画は、単元の見通しを示したものであり、子どもの学びの姿によっては、当然学習過程や時数も常に変更される。学び方においても、一つの形にこだわらず、時には一人で、時には他のグループで等のように、個に応じて最適な学びとなるよう、学びの内容や活動も随時変更を行っていく。

本時の学びの展開

1 本時の目標

未来を想像しよう。

2 本時の評価

評価規準	評価基準	
他者の意見を聞くことで、自分の考えを深めたり、新たな考えを見い出している。 ⑤【他-①】 (行動観察) (自己評価表)	A	他者の意見を聞いて、自分の考えをふまえて新たに感じたことや疑問に思ったことを発表している。
	B	他者の意見を聞いて、自分の考えをふまえて新たに感じたことや疑問に思ったことを書き出している。
	C	他者の意見を聞いている。

3 学びの展開 (1限目/12)

学びの過程	課題の設定	情報の収集	整理・分析	まとめ・創造・表現	実行	振り返り
	学習活動		教師のかかわりの留意点		評価規準 (評価方法)	
導入	1 職場体験の振り返りをする。 ・後期の単元の学習の流れの図を提示して確認する。 ・職場体験を振り返り、体験前後の「働くこと」についての考えの変化を交流する。		①職場体験中の写真を用意しておく。 ②アンケートの結果をグラフで提示する。			
【本時のめあて】 未来を想像しよう。						
展開①	2 意見を出し合う。 ・分類された表を見て、何に分類されているか想像する。 ・職場体験の経験と現状を比較し、意見を交流する。 ・自分たちが働くころの社会を想像し、どんな社会を作っていくか考える。		①職業の書いたカードを用意し、将来残る職業、なくなる職業に分類された表を見て、何に分けられているか想像できるように支援する。 「どういった分類だと思う？」 ②感じたことや考えたことをできるだけたくさん出るように声かけをする。 「なんでこの〇〇(職業)は残って△△(職業)はなくなるんだと思う？」 ③個人思考のあとにグループで交流する。 「どんな社会作っていく？」 ④交流後の意見を全体で共有する。		他者の意見を聞くことで、自分の考えを深めたり、新たな考えを見い出したりしている。 ⑤【他-①】 (行動観察) (自己評価表)	
展開②	3 今の考えを整理する。 ・交流したことをふまえて、今の自分の考えをまとめる。		①他者の意見を聞いて、感じたことや疑問になったことなど自由に書かせる。			
まとめ	4 本時の学習を振り返る。 ①自分が「働く」をキーワードに関心あることについて調べてみたいことを発表する。 ②次回の活動について知る。 ・調べたことを交流する。					